

日本語と中国語の省略疑問文 「 α ハ？」「 α 呢？」

井上 優・黄 麗華

キーワード：文脈依存・状況依存、対応づけ、対比、個体の現状把握、指示対象の不確
定性

要 旨

日本語と中国語の省略疑問文「 α ハ？」「 α 呢(ne)？」(α は名詞句)は、いずれも「 f : $x \rightarrow y$ 」という対応づけを α に適用した結果を問題にする文であるが、「 α ハ？」に比べて「 α 呢？」の用法はかなり限定される。「 α ハ？」は、あらかじめ定義済みの対応づけを α に適用するために用いられるほか、名詞句 α が有する指示対象の不確定性にもとづいてそれ自体で対応づけの内容を定義することもできる。一方、「 α 呢？」は、その場で実行中の対応づけの適用対象として α を追加提示するだけの文であり、それ自体で対応づけの内容を定義することはできない。このような違いは、「ハ」が主題とコメントを結びつける提題助詞なのに対し、「呢」が「対立事項の存在」を表す語気助詞であることから生ずる。

1. 問 題

本稿では、日本語と中国語の省略疑問文「 α ハ？」「 α 呢(ne)？」(α は名詞句)の意味解釈のメカニズムについて考察する。(以下では便宜上、中国語文も原則として日本の漢字で表記する。)

「 α ハ？」「 α 呢？」の用法は大きく二つに分かれる。ひとつは、(1)のように先行文脈と対をなす形で用いられる用法(以下「対比用法」)であり、もうひとつは(2)～(5) (« α 呢?」は(2)のみ)のように先行文脈のささえなしに単独で意味のある質問になる用法(以下「独立用法」)である。独立用法の(5)では個体の有無が問題にされているが、それ以外は疑問詞疑問文に相当する意味を表す。(以下、「??」は意味のある発話として解釈しにくいことを表す。^{注1})

また、[]内は補填解釈される質問内容を表す。

対比用法

(1) ほくはビールにするけど、君は？ [どうする] / 我 喝 啤酒， 你呢？
私 飲む ビール あなた

独立用法

(2) (昼寝をしていた子供が目をさましたところ、母親の姿が見えない)

ママは？ [どうした、どこ] / 媽媽 呢？

お母さん

(26) 日本語と中国語の省略疑問文「 α ハ?」「 α 呢?」

(3) あなたのご専門は? [何]

你的專業是什麼? (あなたの専門は何?) / ??你的專業呢?
あなたの專攻だ何 あなたの專攻

(4) (見たことがない料理を出されて)

これは? [何]

這是什麼菜? (これは何という料理?) / ??這個菜呢?
これだ何のおかず このおかず

(5) (列車の脱線事故が発生したという通報を受けて)

ケガ人は? [誰かいるか]

有沒有受傷的人? (負傷した人はいるか?) / ??受傷的人呢?
あるない 負傷したの 負傷したの

対比用法と独立用法の(2)では「 α ハ?」と「 α 呢?」は同じように使える。しかし、独立用法の(3)(4)(5)では、「 α ハ?」は単独で意味のある質問になるが、「 α 呢?」は単独では意味のある質問にならない。(この逆、すなわち「 α 呢?」は単独で意味のある質問になるが「 α ハ?」は単独では意味のある質問にならないというケースはない)

木村 1990/1996、中川 1992 は、「 α ハ?」「 α 呢?」のこのような違いを「状況依存/文脈依存」という概念を用いて説明している。要点だけをまとめれば次のようになる。

- 1) 「 α 呢?」は、(独立用法の(2)をのぞき) 先行発話の内容から質問内容が推論される文脈依存的な省略疑問文である。^{注3}
- 2) 「 α ハ?」は、話し手と聞き手を取りまく状況(発話現場の状況、話し手と聞き手の既成知識など)から質問内容が推論できれば使える状況依存的な省略疑問文である。

木村 1990/1996、中川 1992 によれば、状況依存/文脈依存という概念は、三人称代名詞の使われ方やいわゆるウナギ文の自然さなどに見られる日中両語の違いを説明する際にも有効な射程の広い概念である。しかし、「 α ハ?」「 α 呢?」に話を限れば、状況依存/文脈依存というだけでは「 α ハ?」「 α 呢?」の性質はうまく説明できない。

第一に、独立用法の(2)では先行発話がなくても「 α 呢?」がごく自然に使える。「 α 呢?」を先行発話の内容から質問内容が推論される文脈依存的な省略疑問文とするかぎり、(2)のようなケースは例外扱いせざるをえない。

第二に、「 α ハ?」を状況から質問内容が推論される状況依存的な省略疑問文とすると、状況から質問内容が推論できそうなのに「 α ハ?」が使いにくいケースがあることをうまく説明できない。

(6) (少し離れたところで何かやっている井上を指さして)

- a. 井上さんは何をやっているの?
- b. ??井上さんは?

(7) (ご飯を食べている夫にむかって、妻が)

- a. 今日のご飯はどう?
- b. ??今日のご飯は?

第三に、「ハ」と「呢」の文法的な性質が基本的に同じであれば、状況依存/文脈依存と

いった語用論的な概念を用いて「 a ハ？」「 a 呢？」の用法差を説明することも必要になるだろうが、「呢」は中国語文法でいう語気助詞（日本語文法でいう終助詞・間投助詞に相当）であり、提題助詞である「ハ」とは文法的な性質がかなり異なる。例えば、(8)では、「呢」は終助詞的に用いられ、「事実を相手に確認させる」（小学館『中日辞典』）という心的態度を表すとされる。（「呢」に関する詳細は後述。）

(8) 都 八点了, 他 還 睡 呢。(もう8時だというのに、彼はまだ眠っている)

もう8時になった 彼 まだ 眠る

(小学館『中日辞典』)

状況依存/文脈依存という射程の広い概念による説明は魅力的だが、「 a ハ？」「 a 呢？」の用法差はまず「ハ」「呢」の文法的な性質と関連づけて考えるのが自然である。

以上の三点を念頭におきつつ、以下では「 a ハ？」「 a 呢？」の意味解釈のメカニズム、ならびに「 a ハ？」「 a 呢？」の用法差の由来について考える。

2. 対比用法の「 a ハ？」「 a 呢？」

対比用法の「 a ハ？」「 a 呢？」は、先行発話で定義された対応づけを a に適用した場合の結果を問題にする文である（「 a 呢？」については後に微修正を加える）。例えば、

(9) (=1) ぼくはビールにするけど、君は？ [どうする] / 我 喝 啤酒, 你 呢？

私 飲む ビール あなた

では、第一文「ぼくはビールにする/我喝啤酒」で、

(10) $f: x$ は (飲むのは) y だ

という対応づけの定義と「飲むもの(ぼく)=ビール」という対応づけがなされ、続く第二文「君は？/你呢？」では、同じ対応づけを「君」に適用した場合の結果(飲むもの(君)=?)が問題にされている。^{注5}

定義済みの対応づけを適用する対象を提示するだけという対比用法の特徴は、次のような例において最も顕著である。

(11) 1 甲：この間、ドイツ料理店でアイスバインとザウアークラウトを食べたよ。

2 乙：アイスバインって？ [何] / ?? アイスバイン は？

3 甲：塩漬けにした豚の脚をゆでたものだよ。

4 乙：じゃ、ザウアークラウト は？ [どう]

(丹羽 1994 に類例あり)

最初の質問(2乙)では「 a ハ？」は使えない。名前 x の定義を問題にする場合は「 x ヲテ (何) ? / x トイウノハ (何) ?」を用いなければならないからである(田窪 1990)。しかし、二度目の質問(4乙)では「 a ハ？」が使える。先行発話(2乙と3甲)で「 f : 名前 x の定義は y だ」という対応づけが「アイスバイン」について実行されているため、二度目の質問では「ザウアークラウトは？」と言うだけで、同じ対応づけが「ザウアークラウト」に対して適用されるのである。

対応づけられる要素の集合があらかじめ与えられている状況では、先行発話で定義された対応づけと逆の対応づけを二度目の質問で適用することができる。対応づけの方向は逆になるが、何と何を対応づけるか((12)では人物とケーキ)ということにはかわらない。

(28) 日本語と中国語の省略疑問文「 α ハ?」「 α 呢?」

(12) (母親がケーキを並べている。ケーキには大きめのと小さめのある)

1 娘: (大きめのケーキが自分ののであってほしいと思いつながら)

私のはどれ? / 哪個 是 我的?

どれ だ 私 の

[f: この中で x (家族の誰かの分) で同定されるのは個体 y (ケーキ) だ]

[f (私の)=?]

2 母: (小さめのケーキを指さして)

これよ。/ 這個。 [f (私の)=これ]

これ

3 娘: (え? と思って大きめのケーキを指さして)

じゃ、これは? / 那、這個 呢?

じゃ これ

[f⁻¹: この中で個体 x (ケーキ) は y (家族の誰かの分) で同定される]

[f⁻¹ (これ)=?]

対比用法の「 α ハ?」「 α 呢?」は多くの場合同じように使えるが、次のように「 α ハ?」は使えるが「 α 呢?」は使えないというケースもある。

(13) (ファミリーレストランで。母と娘と息子がメニューを見ている)

1 母: さあ、何食べようか。/ 咱們 喫 点兒 什麼 呀?

我々 食べる 少し 何

2 母: 君恵、あなたは? / 惠恵, 你 喫 什麼 呀? (?? 惠恵, 你呢?)

あなた 食べる 何

あなた

3 娘: 私、ラーメン。/ 我 喫 湯麵。

私 食べる

4 母: 健、あなたは? / 健健, 你呢?

あなた

日本語では、「何食べようか」(1母)で「f: x は (食べるものは) y だ」という対応づけを定義した後、「あなたは?」(2母)で実際の対応づけを開始することができる。一方、中国語では、対応づけの開始には疑問詞疑問文「你喫什麼呀?」(あなた何食べる?)^{注6}が用いられ、「 α 呢?」が使えるのは二度目の対応づけからである。

つまり、対比用法の「 α ハ?」は、定義済みの対応づけを項目 α に適用するための文であり、対応づけを開始する場合にも、また同じ内容の対応づけを適用対象だけかえてくりかえす場合にも使える。しかし、対比用法の「 α 呢?」は、同じ内容の対応づけを適用対象だけ α にかえてくりかえす(その場で実行中の対応づけの適用対象として α を追加提示する)ための文であり、あくまで先行発話と対をなす形で用いられるのである。

次の例も比較されたい。

(14) 1 甲: このパソコンはどこのメーカーの? / 這台 電腦 是 哪個 廠家 的?

この コンピュータ だ どの メーカー の

2 乙: IBM です。/ IBM。

3 甲: じゃ、あのパソコンは? / 那, 那台 呢?

じゃ、あれ

(15) 1 甲：このパソコンはどここのメーカーの？／這台 電腦 是 哪個 廠家 的？

2 乙：IBM です。／IBM。

3 甲：値段は？／價格 怎麼樣？（??價格 呢？）
どう

4 乙：そこそこといったとこですかね。／還 可以。
そこそこだ

5 甲：性能は？／性能 呢？

(14)(15)では、最初の質問（1 甲）で、

(16) f：個体 x の側面 y は z だ。
注7

という対応づけの基本線の定義と「x=このパソコン、y=メーカー」を代入した場合の対応づけの実行（メーカー（このパソコン）=？）がおこなわれている。そして、日本語の場合、(16)の対応づけが適用の基本線として保持されていれば、二度目の質問(14:3 甲、15:3 甲)では個体と側面のいずれの対比であっても「 α ハ？」を用いることができる。

(14)：メーカー（このパソコン）=IBM、メーカー（あのパソコン）=？

(15)：メーカー（このパソコン）=IBM、値段（このパソコン）=？

中国語では、(14:3 甲)のように「f：パソコン x のメーカーは y だ」という対応づけを「あのパソコン」についてくりかえす場合は「 α 呢？」が自然に使える。しかし、(15:3 甲)のように側面の対比をとまなう対応づけを実行する場合は、一度疑問詞疑問文「價格怎麼樣？」（価格はどうか？）を用いて「f：このパソコンの側面 x の属性は y だ。f（価格）=？」という対応づけを明示的に定義・実行した後、「 α 呢？」（(15)では「性能呢？」）で側面の対比をおこなわなければならない。これも、「 α 呢？」が同じ内容の対応づけを適用対象だけ α にかえてくりかえす文だからである。

3. 独立用法の「 α ハ？」「 α 呢？」

先行発話のささえなしに単独で意味のある質問になる独立用法の「 α ハ？」は大きく四つのタイプにわかれる。独立用法の「 α 呢？」には a 個体一現状態しかない。

a：個体一現状態

(17)（昼寝をしていた子供が目をさましたところ、母親の姿が見えない）

子：ママは？ [どうした、どこ]／媽媽 呢？ (=2)
お母さん

父：買い物だよ。

b：同定属性一個体型

(18) 甲：あなたのご専門は？ [何]／??你 的 專業 呢？ (=3)

あなたの 専攻

乙：言語学です。

c：直示一素性（すじょう）型

(19) 甲：（見たことがない料理を出されて）

これは？ [何]／??這個 菜 呢？ (=4)
この おかず

(30) 日本語と中国語の省略疑問文「 a ハ?」「 a 呢?」

乙：これはアイスパインとって、塩漬けにした豚の脚をゆでたものです。

d：範疇一個体有無型

(20) (列車の脱線事故が発生したという通報を受けて)

甲：ケガ人は? [誰かいるか]/??受傷 的人 呢? (=5)
自傷した の

乙：重傷の人が数人いるようです。

以下、それぞれのタイプについて述べる。

3.1. 個体一現状態型の「 a ハ?」「 a 呢?」

個体一現状態型の「 a ハ?」「 a 呢?」は、「 a 以外はこの場で知覚できているが、同じようにこの場で知覚できてよい a は知覚できない(a はどうした?)」として、発話現場の構成要素のひとつとして想定されながらその場で存在を知覚できない既知の個体 a の現状を問題にする文である。(17)及び次のような例がこのタイプにあたる。

(21) (机の上においておいた本がない)

さっきここにおいた本は? [どうした、どうなっている]

剛才 放 在 這兒 的 書 呢?

さっき 置くに ここ の 本

(22) 甲：(学生証を提示せずに)

学生券を一枚ください。/請 給 我 一 張 学 生 票。
依頼 与える 私 一枚 学生券

乙：学生証は? [どうした]/学生証 呢?

(23) (子供はふだんは宿題をやってから遊びに行く)

子：(学校から帰ってきて、宿題をやらずに)

紅ちゃんの家に遊びにいつてくるね。/我 要 去 小 紅 家 玩。
私 意志 行く 紅ちゃん 遊ぶ

母：宿題は? [どうした]/你 的 作 業 呢?

あなた の 宿題

個体一現状態型の「 a ハ?」「 a 呢?」は、人間が活動する際に常時おこなっている対応づけに依存して用いられる省略疑問文である。

人間が活動する時は常に外界の状況の把握(具体的には、状況を構成する要素の現状の把握)をおこなっている。いいかえれば、人間が外界と接する際には常時、

(24) f: 今この場において個体 x は y という現状にある。

という対応づけが実行されているのであり、個体一現状態型の「 a ハ?」「 a 呢?」は、そのような「常時実行中」の対応づけをその場で知覚できない既知の個体 a に適用した結果を問題にする文である。その場で実行中の対応づけの適用対象を提示するという点で、個体一現状態型の独立用法は2.で述べた対比用法と本質的にかかわるところはない。上の例で「 a ハ?」「 a 呢?」が同じように使えるのはそのためである。

ただし、個体一現状態型の「 a ハ?」「 a 呢?」はまったく同じように使えるわけではない。例えば、「 a ハ?」は「個体 a が行為の対象となっているところを知覚できないが、どうし

た？」という意味でも使えるが、「 a 呢？」はあくまで「個体 a 自体が知覚できないが、どうした？」という意味の質問であり、個体 a が知覚できる場合は使いにくい。

(25) (いつもおかずを酢をかける聞き手が今日は酢をかけない。あれ？と思ってそばにある酢の瓶を指さして)

あれ、酢は？ [どうした] / ?? 欸，酢 呢？

また、次のように a が名詞句といえない場合は「 a 呢？」は使いにくい。

(26) (自分の子供が知人からお菓子をもらった。しかし、子供はお礼をいわない)

君恵、おじさんに「ありがとう」は？ / ?? 恵恵，謝謝 呢？
ありがとう

3.2. 同定属性一個体型、直示一素性型、範疇一個体有無型の「 a ハ？」

同定属性一個体型、直示一素性型、範疇一個体有無型の「 a ハ？」は、名詞句 a の意味論的性質にもとづいて単独で対応づけの内容が定義されるタイプである。

具体的には、これらのタイプの「 a ハ？」は、「名詞句 a が基本的に意味するところだけでは、具体的にどういうものが指示対象となるのかわからない」(そのような意味での指示対象の不確定性を名詞句 a は有する)として、指示対象についてより具体的に述べる表現 β の追加を求める文である。いうなれば、

- (27) a. 現在の日本の首相 a [属性記述のみ]、具体的には橋本龍太郎 β
 b. これ a [指さしのみ]、具体的にはアイスバイン β
 c. ケガ人 a [カテゴリーのみ]、具体的には重傷の人が数人いる β のだが、

のような二つの表現 α 、 β の対応づけを質疑応答の形でおこなうわけである。

「 a 呢？」にこれらの用法はない。「 a 呢？」はその場で実行中の対応づけの適用対象として a を追加提示するだけの文であり、名詞句 a の意味論的性質にもとづいて単独で対応づけの内容を定義することはできないのである。

1) 同定属性一個体型

同定属性一個体型の「 a ハ？」は、名詞句 a が個体の同定属性(個体の同定を可能にする属性情報)を記述する述語として機能し、単独で「 a であるのは何か？」という意味の質問になるタイプである。「 a は同定属性を記述するだけで、具体的な個体までは指示しない」(原理的にはすべての個体は a で同定される可能性をもつ)というわけである。

(28) (=18) 甲：あなたのご専門は？ [何]

你 的 專 業 是 什 麼 ？ (あなたのご専門は何?) / ?? 你 的 專 業 呢 ？
あなた の 専攻 だ 何

乙：言語学です。

(29) 甲：現在の日本の首相は？ [誰]

現 在 日 本 的 首 相 是 誰 ？ (現在の日本の首相は誰?)
の だ

/ ?? 現 在 日 本 的 首 相 呢 ？

(32) 日本語と中国語の省略疑問文「 α ハ？」「 α 呢？」

乙：橋本龍太郎氏です。

(30) 甲：パパになったご感想は？ [どうか]

你 当了 爸爸 有 什麼 感想？ (パパになってどんな感想をもってる?)
あなた なった パパ ある 何

／??当了 爸爸 的 感想 呢？
なった パパ の

乙：何か変な感じがします。

これらの例で、名詞句 α はメンタル・スペース理論 (Fauconnier 1994) でいう「役割」とパラメータから構成されている。役割を表す名詞句は、それ自体関数として機能し、

専門 (現在のあなた) = 言語学、専門 (現在の私) = 中国語...

首相 (現在の日本) = 橋本龍太郎、首相 (1995年の日本) = 村山富市...

感想 (1990年10月長女誕生) = 変な感じ、感想 (1989年7月結婚) = ほっとした...

のように、時間や場所、個体といったパラメータの指定により具体的な個体(値)との対応づけが可能になる(坂原 1990 参照、2. で側面と呼んだのも役割割)。同定属性一個体型の「 α ハ？」では、 α が「パラメータ+役割」という意味構造をもつことにより、単独で、

(31) f : 「 x (パラメータ) の y (役割)」で同定される個体は z だ。(パラメータ x のもとで y で同定される個体は z だ)

という対応づけが定義される。(2. で述べた対比用法の「 α ハ？」「 α 呢？」も、つまるところは、役割割(側面)を固定して別のパラメータを設定する、あるいはパラメータを固定して別の役割(側面)を設定することにより対比的な対応づけをおこなう用法である。)

パラメータは状況や先行発話から明らかな場合は省略できる。

(32) ところで、ご用件は？ [何] (=今回ここにいらしたご用件は?)

欸, 你 有 什麼 事情 啊？ (どういう用事があるの?) / ??事情 呢？
あなた ある 何 用事 用事

(33) 甲：この間パソコンを買いました。

乙：そう。メーカーは？ [どこ] (=そのパソコンのメーカーは?)

是 哪個 廠家 的？ (どこのメーカーの?) / ??廠家 呢？
だ どの メーカー の メーカー

α で同定されうる候補の集合がその場に存在する状況では、「 α ハ？」は名詞句 α の意味論的性質とは関係なく「この中で α であるのはどれ？」という解釈をうける。状況にささえられて α が同定属性として解釈されるのである。^{注9}

(34) (写真のどこかに聞き手がうつっている。その写真を指さして)

あなたは？ [どれ] (=この中で「あなた」であるのは?)

哪個 是 你 呀？ (どれがあなた？、あなたはどれ?) / ??你 呢？
どれ だ あなた あなた

(35) (母親がいろんな種類のケーキを並べているのをうれしそうに見ながら)

私のは？ [どれ] (=この中で「私の」であるのは?)

哪個 是 我的？ (どれが私の？、私のはどれ?) / ??我的 呢？
どれ だ 私 の 私 の

2)直示一素性(すじょう)型

直示一素性型の「 a ハ？」は、その場に存在する正体不明の個体を直示表現 a で指定して、その素性を問題にする文である。「 a はその場にあるものを指さすだけで、その個体はどういうものであるかまでは述べない」(原理的にはすべての個体は a で指さすことができ、 a でどういものが指示されるかは状況によってかわる)というわけである。

(36) (=19) 甲：(見たことがない料理を出されて)

これは？ [何]

這 是 什麼 菜？ (これは何という料理?) / ?? 這個 菜 呢？

これだ 何の おかず

この おかず

乙：これはアイスバインとって、塩漬けにした豚の脚をゆでたものです。

(37) (交通事故にあつて気を失った。気がつくと知らない場所にいた)

甲：ここは？ [どこ]

這 是 哪兒 呀？ (ここはどこ?) / ?? 這兒 呢？

ここだ どこ

ここ

乙：病院ですよ。

(38) (旧正月の中国で。甲が乙の案内で街を歩いていたら突然「パン！パン！」という大きな音が鳴った)

甲：今の音は？ [何]

這 是 什麼 声音 呀？ (今のは何の音?) / ?? 這 声音 呢？

これだ 何の 音

この 音

乙：爆竹を鳴らしているんですよ。

直示一素性型の「 a ハ？」はあくまで個体の素性の把握に役立つ情報を求める文である。素性の把握に役立たない属性情報を述べても意味のある答えにはならない。

(39) (帰宅したところ、台所に正体不明の米がおいてあった)

夫：この米は？ [何]

妻：富山のお母さんが送ってくださったの。/?とてもおいしいわよ。

正体不明の個体の素性を問題にする場合は、その個体を直示表現 a で指定して「 a ハ？」と言えばよい。しかし、素性がわかっている眼前の個体 a を指さして「 a ハ？」と言っても意味のある質問にはならない。

(40) (少し離れたところで何かやっている井上を指さして)

a. ??井上さんは？ (=6b)

b. 井上さん(個体)が今あそこでやっていること(側面)は？

c. 井上さん(個体)は何をやっているの(側面)? (=6a)

(41) (ご飯を食べている夫にむかって、妻が)

a. ??今日のご飯は？ (=7b)

b. 今日のご飯(個体)の具合(側面)は？

c. 今日のご飯(個体)はどう(=どんな具合(側面))? (=7a)

(40)(41)で「 a ハ？」が意味のある質問にならないのは、素性がわかっている個体 a の

(34) 日本語と中国語の省略疑問文「 a ハ?」「 a 呢?」

ういう側面の属性が問題にされているのかわからないからである。素性以上の細かい属性を問題にするには、b、cのように、問題となる側面（役割）を指定する必要がある。

主題とコメントの両方がそろっている「 a ハ β 」では側面の指定は必須ではない。主題とコメントを意味のある形で結びつけるために適当な側面が補填解釈されるからである。

(42) 井上さんは（今あそこでやっているのは）餃子の皮をのぼしているのだ。

(43) 今日のご飯は（味は）なかなかおいしい。

しかし、省略疑問文「 a ハ?」には側面の補填解釈の動機となるコメントがない。ゆえに、側面を具体的に指定しないと後続するコメントの内容が決まらないのである。

3) 範疇一個体有無型

範疇一個体有無型の「 a ハ?」は、 a というカテゴリーに属する個体 x が存在するかどうか ($\exists x(x \in a)$?) を問題にする文である。「 a はカテゴリーの存在を述べるだけで、具体的な個体の存在についてまでは述べていない」(概念としてのカテゴリーが存在するからといって現実には個体が存在するとはかぎらない) というわけである。^{注10}

(44) (=20) (列車の脱線事故が発生したという通報を受けて)

甲：(誰か) ケガ人は? [誰かいるか]

有 没有 受傷 的人? (ケガ人はいるか?) / ?? 受傷 的人 呢?
ある ない 負傷した の 負傷した の

乙：重傷の人が数人いるようです。

(45) (何か) ご質問は? [何かあるか]

有 没有 什麼 問題? (何か質問はありますか?) / ?? 問題 呢?
ある ない 何か 質問 質問

(46) 甲：外国で日本語を教えたいと思ってるんですが。

乙：日本語を教えられた経験は? [何かあるか]

你 以前 教過 日語 没有? (日本語を教えたことはありますか?)
あなた 教えたことがある 日本語 ない

/?? 教 日語 的 經歷 呢?
教える 日本語 の

甲：日本語学校で1年ほど教えたことがあります。

次の例でも、行為の対象に「砂糖」に属する個体が含まれるか否かが問題にされている。

(47) (聞き手のカップに紅茶を注ぎながら)

砂糖は? [いくら必要か]

你 放 不放 糖? (砂糖を入れる?) / ?? 糖 呢? (木村 1996)
あなた 入れる 入れない 砂糖 砂糖

3.3. 独立用法の「 a ハ?」「 a 呢?」(まとめ)

以上見てきたように、独立用法の「 a ハ?」の解釈は名詞句 a の解釈と密接に関係する。具体的には、 a が「同定属性を記述するだけ/指さすだけ/カテゴリーを表すだけ」(したがって、具体的にどういうものが指示対象となるかは不確定) の名詞句として解釈されれば、「 a ハ?」は指示対象についてより具体的に述べる表現の追加を求める文として解釈される(同

定属性—個体型、直示—素性型、範疇—個体有無型)。また、 α が既知の個体を指示する(指示対象の不確定性を有さない)名詞句と解釈されれば、「 α ハ？」は「状況の構成要素の現状把握」という人間が不断に実行している対応づけを α に適用した結果を問う文として解釈される(個体—現状型)。

同じ名詞句でも状況によって「 α ハ？」の解釈はかわる。しかし、それは状況によって名詞句 α の解釈がかわるからであり、状況から直接質問内容が推論されるわけではない。

(48) (さっきまでいた「あの人」がいない)

あれ、あの方は？ [どうした] (個体—現状型：「あの人」は既知の個体)

(49) (少しはなれたところにいる正体不明の「あの人」を指さして)

あの方は？ [誰] (直示—素性型：「あの人」は直示の対象)

(50) (夫の同僚であり、妻の友人である A が遊びに来て、夫が参加した仮装行列の写真を見せてくれた。どれが夫だろうかと思って、台所にビールをとりに行った夫を指さして)

ねえ、あの方は？ [どれ] (同定属性—個体型：「あの人」は同定属性)

独立用法の「 α 呢？」には個体—現状型しかない。独立用法の「 α 呢？」は、状況の構成要素の現状把握という人間が不断に実行している対応づけの適用対象として α を追加提示するだけの文であり、名詞句 α の意味論的性質にもとづいてそれ自体で対応づけの内容を定義することはできない。

4. 「 α ハ？」「 α 呢？」の用法差の背景

「 α ハ？」「 α 呢？」の用法差は次のようにまとめられる。

まず、日本語の「 α ハ？」は、あらかじめ定義済みの対応づけを項目 α に適用するために用いられるほか、名詞句 α の意味論的性質(指示対象の不確定性)に依存してそれ自体で対応づけの内容を定義することもできる。一方、中国語の「 α 呢？」は、その場で実行中の対応づけの適用対象として α を追加提示するだけの文であり、名詞句 α の意味論的性質にもとづいてそれ自体で対応づけの内容を定義することはできない。「 α 呢？」の質問内容は「その場でどのような対応づけが実行中か」によってのみ決まる。

このような違いは「ハ」「呢」の文法的な性質の違いから生ずる。

「ハ」は主題とコメントとを結びつける提題助詞である。ゆえに、「 α ハ？」ときたら、あらかじめ定義済みの対応づけ、あるいは名詞句 α 自体の意味論的性質にもとづいて定義される対応づけの範囲内で、 α に対して何らかのコメントを結びつけなければならない。

一方、中国語には「ハ」にあたる提題助詞はなく、「呢」も語気助詞(日本語文法でいう終助詞・間投助詞に相当)と呼ばれる一種のモダリティ表現である。「呢」の用法はきわめて多岐にわたるが、その基本的な機能は「“一方ではこういうこともある”として、既存の事項と対立する別の事項があることを示す」とまとめることができる。

「呢」は疑問詞疑問文や選択疑問文で用いられることがある。この場合、聞き手に情報を求めるというよりは、話し手の「はて？」という思い惑いの気持ちの叙述により重点をおいた疑問文になる(木村・森山 1992)。複数あるいは不特定多数の対立する可能性の間で

(36) 日本語と中国語の省略疑問文「 α ハ?」「 α 呢?」

思い惑う気持ちが「呢」で表されるのである。

- (51) 你 是 喝 紅茶 呢, 還是 喝 咖啡 呢? (小学館『中日辞典』、日本語訳も)

あなた だ 飲む それとも 飲む コーヒー

(紅茶にしますか、それともコーヒーにしますか?)

- (52) 你 在 学校 都 学 了 些 什麼 呢? (同上)

あなた で 一体 学んだ いくつか 何

(学校で何を習ったのですか?)

「呢」は平叙文の文末でも用いられる。この場合、「既存の現状1と対立するもうひとつの現状2がある」ことを指摘する文になる。(しばしば言われる「事実を相手に確認させる」「状態の継続を表す」(小学館『中日辞典』)という意味あいもここから生ずる。)

- (53) 都 八点了 (現状1), 他 還 睡 呢 (現状2)。(=8)(同上)

もう 8時になった 彼 まだ 眠る

(もう8時だというのに、彼はまだ眠っている)

- (54) (客が帰ろうとしている (現状1))

別 走 了, 外面 下 着 雨 呢 (現状2)。(同上)

禁止 行く 外 降っている 雨

(まあ待ちなさい、外は雨が降ってるよ)

「呢」は提題助詞に近い形で使われることもある。この場合も「既存の項目と対比させて別の項目をとりあげる」という意味が加わる。

- (55) 傷 是 治好了, 身体 呢, 還 有 些 虛弱。(同上)

傷 だ 治った まだ 少し 弱っている

(傷は治ったが、体の方はまだ少し弱っている)

このように、「呢」は「既存の事項と対立する別の事項の存在を示す」ための形式である。「その場で実行中の対応づけの適用対象を追加提示する」という「 α 呢?」の機能は、「呢」のこのような機能が最も直接的な形であられたものである。「 α 呢?」はそれ自体で対応づけの内容を定義することができないが、これも「呢」が「対立事項の存在」という paradigmatic な関係を示すだけの形式であり、主題とコメントを結びつけるという syntagmatic なレベルの機能をもたないからである。^{注11}「 α 呢?」に何かコメントを結びつけるということも、「その場で対応づけが実行中である」ということからくる要請にすぎない。

5. おわりに

本稿では、日本語と中国語の省略疑問文「 α ハ?」「 α 呢?」の意味解釈のメカニズム、ならびに両者の用法差の由来について考察をおこなった。全体としては、1)「ハ」「呢」という基本的な性格を異にする文法形式が「同じ内容の質問をくりかえす労力の軽減」という共通の目的のために用いられていること、及び、2)「 α ハ?」の意味解釈の問題は基本的に名詞句の意味論の問題であることについて見たことになる。

注1 「 α ハ?」が疑問詞疑問文相当の意味を表すことはしばしば指摘されるところだが、「 α ハ?」の意味のタイプや意味の決まり方に関する具体的な議論はなされていない。

注2 α が「名詞句+格助詞」の場合は対比用法しかない。

- ・「このことは井上さんに知らせた?」「はい」「黄さんには?」
- ・(父親が弟にお菓子をわたしているのを見て) ねえ、私には?

注3 木村 1990/1996、中川 1992 は「文脈」を「先行する言語的文脈」(すなわち先行発話)という意味に限定して用いている。

注4 「井上さんは..」と言いよどむ場合は「井上さんは(いったい何を)..」という含みをもった文になるが、明確な質問文としての「井上さんは?↑」は意味のある質問にならない。

注5 対比用法の「 α ハ?」の「ハ」は益岡 1991 (pp.184-186) のいう「対立主題」を表す。「 α 以外のものはそうではない」という含みをもついわゆる「対比のハ」ではない。

注6 先行発話で対応づけが一度実行されていれば、一度目の対応づけが未完成であっても二度目の対応づけでは「 α 呢?」が使える。

甲: 你喫什麼? (あなた、何食べる?) [f: x は (食べるのは) y だ。f(乙)=?]

乙: 你呢? (あなたは?) [f(甲)=?]

注7 以下、「個体」を個々の人物や生物、個々の事物、個々の場所などの総称として用いる。

注8 この点については、有田・田窪 1995 (pp.51-52) の議論も参照のこと。

注9 「写真の中に聞き手の姿が見あたらない」「私の分が見あたらない」という場合は「你呢?」「我的呢?」が使えるが、その場合は個体一現状型の「 α 呢?」である。

注10 カテゴリー α に属する個体の有無を問題にする場合は「 α ハ?」だが、カテゴリー α の定義を問題にする場合は「 α ッて?/ α トイウノハ?」を用いる。

「ケガ人」って? / 「ケガ人」というのは? [何、何のこと]

注11 邵敬敏 1989 は「呢」の基本的な意味を「提醒」(表現内容のある一点に聞き手の注意をひきつける)とし、「 α 呢?」の「呢」には「主題提示作用」があるとする。この説明は「 α ハ?」と「 α 呢?」の類似点を説明するには便利だが、両者の相違点は説明できない。

参考文献

- 有田 節子・田窪 行則 (1995) 「日本語の提題形式の機能について」『人間科学』創刊号 九州大学文学部
- 木村 英樹 (1990) 「文脈依存と状況依存」『中国語』1990年8・9月合併号 内山書店
- (1996) 『中国語はじめての一步』筑摩書房
- 木村 英樹・森山 卓郎 (1992) 「聞き手情報配慮と文末形式」『日本語と中国語の対照研究論文集(下)』くろしお出版
- 坂原 茂 (1990) 「役割、ガ・ハ、ウナギ文」『認知科学の発展3』講談社サイエンティフィック
- 田窪 行則 (1990) 「対話における知識管理について」『アジアの諸言語と一般言語学』三省堂
- 西山 佑司 (1988) 「指示的名詞句と非指示的名詞句」『慶應義塾大学言語文化研究所紀要』20
- (1990) 「「カキ料理は広島が本場だ」構文について——飽和名詞句と非飽和名詞句——」『慶應義塾大学言語文化研究所紀要』22
- 中川 正之 (1992) 「類型論から見た中国語・日本語・英語」『日本語と中国語の対照研究論文集(上)』くろしお出版
- 丹羽 哲也 (1994) 「主題提示の「って」と引用」『人文研究』46 大阪市立大学
- 益岡 隆志 (1991) 『モダリティの文法』くろしお出版
- 呂 叔湘 主編 (1980) 『現代漢語八百詞』商務印書館 (牛島徳次監訳 1992 『中国語用例辞典』東方書店)
- 邵 敬敏 (1989) 「語気詞“呢”疑問句中的作用」『中国語文』1989年第3期

(38) 日本語と中国語の省略疑問文「*a*ハ?」「*a*呢?」

- Chao, Yuen Ren. (趙元任) 1968. *A grammar of spoken Chinese*. University of California Press.
(呂叔湘訳 1979『漢語口語語法』商務印書館)
- Fauconnier, Gilles. 1994. *Mental Spaces*. Cambridge University Press. (坂原茂ほか訳 1996『メンタル・スペース (新版)』白水社)
- Li, Charles N. and Sandra A. Thompson. 1981. *Mandarin Chinese: a functional reference grammar*. University of California Press.

[付記] 本稿は平成7年度国語学会秋季大会(1995年10月22日、新潟大学)でおこなった口頭発表の内容を大幅に改訂したものである。また、本稿の内容は、国立国語研究所日本語教育センター第一研究室平成6年度一般研究「日本語の対照言語学的研究：疑問文の意味に関する日本語と中国語の対照研究」でおこなった研究の一部をもとにしている。

——いのうえ まさる：国立国語研究所主任研究官——

——HUANG Lihua：聖心女子大学・一橋大学非常勤講師——

(平成9年11月11日 受理)